

気候情報

2009年1月の日本の天候

○北日本の顕著な高温、北日本日本海側の顕著な少雪

○北・東日本太平洋側の顕著な多雨

1月の天気概況

寒気の影響が小さかった北・東日本では高温となった。特に北日本では、日本海や三陸沖を通過した低気圧の影響で暖かい空気が流入したことも加わって顕著な高温となり、北海道の釧路では月平均気温の高い記録を更新した。北・東日本日本海側の降雪量は少なく、特に北日本日本海側では顕著に少なかった。低気圧の影響を受けやすく、月末には大雨となったところもあった北・東日本太平洋側は顕著な多雨となり、栃木県の宇都宮など4地点で月降水量の多い記録を更新した。一方、寒気がしばしば流入した西日本や沖縄・奄美では寒暖の変動が大きかった。西日本日本海側の降雪量は平年並だった。月末に大雨となった奄美地方は顕著な多雨となったが、前線や低気圧の影響が小さかった沖縄地方は顕著な少雨となった。

上旬：期間の前半は冬型の気圧配置が続き、日本海側では曇りや雨または雪の日が多かった。後半は冬型の気圧配置が緩み、9日から10日にかけて本州の太平洋沿岸を低気圧や前線が通過し、その影響で東・北日本太平洋側を中心に雨や雪が降った。この期間の寒気の南下は西日本や沖縄・奄美が中心で、沖縄・奄美では気温が低くなった一方、北日本では気温が高くなった。

中旬：期間の前半は、日本海に停滞した低気圧や寒気の影響で、日本海側では曇りや雪または雨の日が多かった一方、太平洋側や沖縄・奄美では晴れの日が多かった。後半は、初めは移動性高気圧に覆われ晴れたところが多かったが、その後は、18から19日にかけて本州の太平洋沿岸や日本海を通過した低気圧や前線の影響で、西日本から北日本の広い範囲で雨や雪が降った。

下旬：この期間、冬型の気圧配置は長続きせず天気は数日の周期で変わった。23日には沿海州付近を通過した低気圧に向かって暖かい南風が入ったため、北日本を中心に気温が上がり、特に北海道では多くの地点で1月の日最高気温の記録を更新した。月末には本州の太平洋沿岸を通過した低気圧の影響で、西日本から北日本にかけての広い範囲で雨や雪となり、東北地方と関東甲信地方を中心に大雨となったところもあった。

2009年3月

1月の気候統計

月平均気温：北日本でかなり高く、東日本で高かった。西日本と沖縄・奄美では平年並だった。

月降水量：北日本から東日本にかけての太平洋側と奄美地方でかなり多く、西日本で多かった。一方、沖縄地方ではかなり少なく、北日本から東日本にかけての日本海側では平年並だった。

月間日照時間：東日本日本海側でかなり多く、沖縄・奄美で多かった。一方、北日本太平洋側ではかなり少なく、西日本では少なかった。北日本日本海側と東日本太平洋側では平年並だった。

降雪・積雪：降雪の深さ月合計は、北日本日本海側でかなり少なく、東日本日本海側で少なかった。西日本日本海側では平年並だった。月最深積雪は、北日本から東日本にかけての日本海側では平年を下回るころが多かったが、西日本日本海側では、平年を上回るころが多かった。

(気象庁観測部統計室)

1月の記録(1位更新のみ)

・月平均気温高い方から(°C)

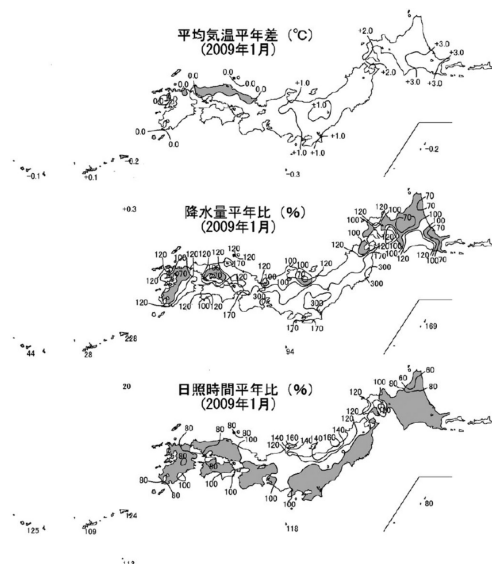
釧路 -2.1

・月降水量多い方から(mm)

白河 107.5 宇都宮 108.0

館野 117.5 熊谷 114.0

2009年1月の平年差(比)図



注) 陰影の部分は、平年より低い(少ない)地域を示す。